



いとう ひろし/作・絵
講談社
1995年 ¥1000

だいたいぶ だいたいぶ

「だいたいぶ？」と尋ねるのではなく、「？」を除いて「だいたいぶ」と声をかけることの大切さに気付かされる。



君島 久子/訳
赤羽 未吉/絵
岩波書店
1969年 ¥1200

王さまと九人のきょうだい

中国の民話を君島久子が訳したもので、王さまの難題に九人兄弟が解決していく物語。九人兄弟の名前から難題を解決していくのを予想するのが面白い。

にじいろのさかな

にじいろにかがやくろこをもった、世界でいちばん美しいさかなは、ひとりぼっちでさみしいさかなだった。ある日、にじいろのさかなは、なやみをひとでにうちあげた。さみしいさかなはしあわせになれるかな？



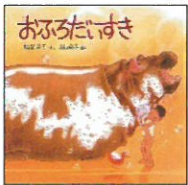
マークス・フィスター/作
谷川 俊太郎/訳
講談社
1995年 ¥1800

どろんこハリー

ハリーは、くろいぶちのあるしろいいぬです。ハリーが何をしても家族がハリーを愛していることがわかってうれしくなる本です。「うみべのハリー」「ハリーのセーター」もあります。



ジーン・ジオン/ぶん
マーガレット・プロイ・グレアム/え
わたなべ しげお/やく
福音館書店
1964年 ¥1200



松岡 享子/作
林 明子/絵
福音館書店
1982年 ¥1300

おふろだいすき

まこちゃんが、あひるのプッカとお風呂に入って体を洗い始めたら、かめ、ペンギン、オットセイ、かば、それに大きなくじらまで登場！毎日入るお風呂がこんなだったら…。一人でお風呂に入り始めた子ども子供たちにぜひ！！

現在購入できる版の出版年
を掲載しています。
価格は2019年2月現在の本体
価格です。

掲載については出版社の許諾を
得ています。
無断で転載することを禁じます。



2019年3月発行
大洲市立図書館

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より)

ボランティア
おすすめ

うちどく 絵本リスト

え 図 本

しょうがっこう
小学校
ていがくねんぱん
低学年版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。

「うちどく」で家族のきずなを 深めましょう！

毎月第3日曜日は“うちどくの日”

●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によってさまざまな感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、市内の学校や施設で読み聞かせ活動をされているボランティアのみなさんに、家族で読んでほしい本を、絵本を中心におすすめしてもらいました。

まよなかかいぎ

月の出る夜、ランドセルの中身たちが出てきて、初めて通う学校でのゆうきくんの様子をあれやこれやと報告しはじめる。道具たちは、ゆうきくんの失敗や頑張りになやみたり笑ったり。彼らはなんとすてきな応援団なのでしょう！



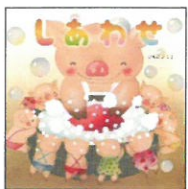
浜田 桂子/作
理論社
2018年 ¥1380



DEV・ベティ/ぶん
マイク・ポルト/え
こばやし けんたろう/やく
マイクロマガジン社
2017年 ¥1600

おし、カエルやめるや

カエルをやめるという子ガエルと、父さんカエルの会話で進行する形。単純に〇〇になると宣言する子ガエルになれない理由を一つひとつ説明する父さんカエル。お疲れ様です。



いもと ようこ/作
講談社
2017年 ¥1400

しあわせ

しょうがくせい さくぶん じっさい
小学生の作文がもとになった、実際にあったお話をいもとようこさんが絵本にしたもの。日々の暮らしの中で見つけた「しあわせ」。あたたかだしあわせな気持ち広がっていく絵本。



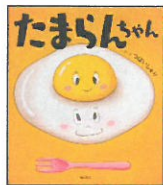
坂本 義喜/原案
内田 美智子/作
魚戸おさむとゆかいななまたち/絵
講談社
2013年 ¥1400

いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日

いのち 命について、食について、仕事について
かんが 考えさせられる絵本です。何気なく食べているたべもの全て、いのちをいただいているという感謝の気持ちを育むよい本だと思います。

たまらんちゃん

そういえば卵料理って、黄身と白身はたいがい一緒に使う。その卵が白身と黄身の両方の視点でケーキになるまでをたどっている。たまちゃ〜ん!らんちゃ〜ん!と、なんともかわいい。



つばい じゅり/さく・え
金の星社
2017年 ¥1300

のせてのせて100かいだてのバス

まいにちおなじの繰り返しにうんざりしていたバスの運転手さん。ある日、バスのコースを外れてみたら、行き先を決めない冒険の旅が始まった!お客さんをどんどん乗せていくうちに、バスは100かいだてに!?ページが長く伸びるしかけつき。



マイク・スミス/作
ふしみ みさを/訳
ポプラ社
2013年 ¥1300

もうあかん!



岡田 よしたか/作
学研
2016年 ¥1100

ウンチする場所にこだわる犬。我慢に我慢を重ねていく表情と、関西弁がはまります。文も絵もともに楽しめる1冊。もちろんオチもしっかり!岡田よしたかさんの真骨頂。



あきやま ただし/作・絵
金の星社
2012年 ¥1200

グリグリかめん

こうたくんは、ギリギリにならないと動かない。いつも、ギリギリパワー全開で、笑いも全開まぢがいなし。あなたは、コツコツ派、ギリギリ派?ギリギリのスリルをこうたくんと一緒にお楽しみください。

山のとしゃかん

おばあさんは、わが子に読んでいたなつかしい絵本を、毎晩やってくる不思議な男の子に読んであげます。その子は一体どこからやってくるのでしょうか?縁側に並べられた絵本の中に、自分の知っている絵本を見つけるとうれしいかも。



肥田 美代子/文
小泉 るみ子/絵
文研出版
2010年 ¥1300

おへんじください。

なにごともメールやSNSでやり取りしている現代にあって、改めて、手紙を出すこと、返事を待つ気持ちを思い出させてくれます。読後には、「私もお便り書いてみたい」と思うようになるはず。



山脇 恭/作
小田桐 昭/絵
偕成社
2004年 ¥1000



村田 エミコ/ぶん・え
大日本図書
2008年 ¥1400

おふろ おばけ

ひとりでおふろに入るのはドキドキ!あんなところやこんなところにもおばけが...でも、楽しいかも♪力強い木版風の絵本です。



宮西 達也/作絵
ポプラ社
2003年 ¥1200

おまえ うまそうだな

こどもが大好きな、強くてかっこいいきょうりゅう。ところがとことんやさしいおとうさんのような存在にぐっときてしまう本です。

うえきばちです

「うえきばちがあったので土を入れて…」あるものを植えました。さてどんなふうになるのか?絵のインパクト大!お話の展開もびっくりで、大爆笑になりますよ。



川端 誠/作
BL出版
2007年 ¥1200

せみとり めいじん

せみとり名人のゴンちゃんが、手作りの網を作って、セミへの近づき方から、網のかぶせ方までセミ採りのノウハウをたっぷりとお話してくれる絵本。虫を採る喜びをまだ知らない子供と共に、大人も外へ出かけてみたくなる1冊です。



かみや しん/作
奥本 大三郎/監修
福音館書店
2001年 ¥900